

## 生物多様性に係る市民啓発について

## 1. 背景

生物多様性に係る問題は、最も重要な環境問題の一つでありながら、市民に未だ認知されておらず、市民啓発は重要な課題である。

なお、「生物多様性 神戸プラン2020」の数値目標の一つに「2020年度までに生物多様性の市民認知度を100%（言葉の意味も知っているのは60%）とする」という項目がある。

## 2. 「生物多様性」という言葉の認知度の現状

平成21年度 市民アンケート

言葉を知っている： 約68%

意味も知っている： 約33%

平成23年度 市政アドバイザーアンケート

言葉を知っている： 約78%

意味も知っている： 約40%

平成25年度 調査予定

## 3. 啓発実績（平成24年度）

(1) 説明会・集会・イベント等 30回（前年度29回）

(2) 学校授業 2回（前年度3回）

(3) 広報紙等印刷物発行 7回（前年度6回）

(4) その他（ホームページ、電子メール等による周知）

- ・KOBE環境大学、出前トークでの講演、シルバーカレッジ
- ・グリーンフェスタ、花のフェスタ、こうべ自然はっけん隊での啓発
- ・コミスタこうべ、まちづくり会館、花時計ギャラリー、三井住友信託銀行でのパル展示
- ・広報紙KOBE、エコ市民だよりECOECOでの啓発
- ・環境局HP、Eメールユーザーでの情報提供
- ・神戸市小・中学校教育研究会理科部への説明、連携

## 4. 今後の進め方

- (1) 引き続き広報紙、HP等を活用した生物多様性に関する情報の周知を進める。
- (2) 啓発用資料として一般市民向け（小学校中学年が理解できるもの）に作成した生物多様性リーフレットを説明会・出前トーク・イベントなどで有効に活用する。
- (3) 教育委員会と連携し、生きものマップの理科授業への活用を図るため、「季節の生きもの探し」ができる利用ガイドを市内小学3年生全員に配付（3月末配付済）し、連携した授業を実施するなど、子どもたちの生物多様性への理解を深める。